2019年度事業報告

社会福祉法人かわち野福祉会

2019年度は、社会福祉法人かわち野福祉会は設立 20周年をむかえました。20年の軌跡を「つながる笑顔 20年のあゆみ」の記念誌にまとめ、設立からかかわっていただいた歴々の関係者の方への尽力いただいたことや経験から学ぶことができました。

設立 20 周年のとりくみは、年末の忙しい中式典には 1 4 0 名に参加いただき、東大阪市長をはじめ、祝電・メッセージ 1 4 8 通お寄せいただき多くの皆様とともにお祝いすることができました。初代水口理事長は「特養をつくらなあかん。」と何度もおっしゃっていて、この 2 0 周年を特養開設後に迎えられたことも喜ばしいことです。

大きな課題であった公益事業の経営状況の改善には、プロジェクト委員会(配食事業とサ高住加納)を設置し改善をすすめました。配食事業では、前年度(2018年)10月より実質食の自立支援事業が縮小され、補助金が入らなくなったことで事業存続が危ぶまれました。食数の確保のための営業活動やチラシの配布、業務改善、原価率管理などをすすめました。アンケートによる利用者の声に耳を傾け、より喜ばれるメニュー作りへと「配食献立開発会議」では調理士が集まり改善を進めています。サービス付き高齢者住宅かわちの里加納の運営については、一時期PJ会議運営もままならない体制の悪化に見舞われ滞った時期もありましたが、2施設の施設見学し「かわち野福祉会で展開するサービス付き高齢者住宅」を見直し、行政との相談を進め、成果はまだこれからですが、前進しています。中・重度の入居者様に対応がができる範囲で、医療との連携、介護事業所との連携を強めるようにし、ヘルパーST加納が、サ高住の館内に移転しました(2020年6月1日)。経営状態が改善していない中ではありましたが、建物の所有者の申入れによりかわち野福祉会が買受ました。サ高住加納の建物取得することができ、多少でも月々の支払いは減らすことができました。また、家賃等利用料について、開設以来値上げをしてきませんでしたが、7月~改定します。

慢性的な人材不足が続く中求人活動は継続して行っていますが、年間の入職者数は 39 名(昨年度は 58 名) に対し離職者は 48 名(昨年度は 59 名)でした。入職があっても退職者も多く人手不足は続きます。一年以内の離職した割合は 20.5%(昨年度は 31.0%) 今年度は特養のプリセプター制の導入など効果があったといえます。

職員のメンタルヘルスの取り組みは 2年目となり、昨年度は全員に面談を行いましたが、今年度から、各地域を回っていただき新入職員を優先にランダムに行いました。全職員対象のストレスチェックでは、91%の実施率でした。高ストレスの割合が 25%以上の部署が 3か所あり、前年度より健康リスクの悪化した部署は 4 か所あり身体的には「腰痛」「肩こり」が多くなっていました。改善した部署も多くみられますが、継続して対策を検討していきます。

新型コロナウィルスに対応して2月27日より特養では面会制限をし、ケアハウスやサ高住加納でも外出の制限など入居者さんをコロナから守る取り組みを進めました。職員への標準予防策の徹底や布マスク、アルコール、フェイスシールドの配布し、職員のコロナ対策や学習資料配布など行っています。訪問介護では利用を中止される、熱があって利用を控えるなど影響が出ています。特に、配食部門では支部総会やお花見の中止などでイベント弁当の売り上げが大

きく落ちました。

【特養ながせ】

特養ながせは、収益で672万円増ですが、人件費は1269万円増となり、それがそのまま収支差に影響しています。経常増減差額では1771万円あるものの、昨年度を668万円下回りました。

- 入居者の入れ替わりが年間 10 件あり、1 件当たり入れ替わりに 10 日程の日数を要しています。また、入院者も月平均で 5 名ほどあり、稼働率の低下につながっています。
- 開設後初めて100歳のお誕生日を迎えた利用者様を、皆でお祝いすることができました。
- 入居者も重度化してきており胃瘻注入の方は8名 吸引2名となっています。
- 特養での看取りは1件ありました。ご家族に見守られ穏やかに逝かれました。
- 職員欠員については 4~5 名あり、不足を補う為の残業が増えています。その中でも職員研修や学習会、各種委員会も定期的に開催できています。
- 家族会主催のイベントにも取り組め、ボランティアさん協力もあり喫茶も順調に開催できてました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	特養ながせ
入居者数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	58	59	60	
介護請求数	58	60	61	59	56	60	59	60	58	58	59	58	
平均介護度	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
入院数	2	8	8	6	2	3	8	7	6	6	8	4	
稼働率	95	92.8	94	94.4	96.8	96.6	94	93.7	95.1	92.4	95.4	95.8	94.7
収入	23,731	23,823	23,147	24,238	24,312	23,677	24,170	23,855	24,523	28,497	23,020	24,882	平均
収入/日/人	10728	10746	10751	10871	10674	10725	11019	10938	10854	11200	10682	11126	10860

【短期入所生活介護】

ショートステイは、稼働率の低下が著名であり、対応の鈍化から収入が昨年度より▲829 万と下回り稼働率のアップが今後のカギとなる。人件費は人手不足で▲29万円、事業費は▲92万円と抑えられました。

- 職員不足が慢性化し十分なサービスを提供できなかった部分があり、営業活動も不足して しました。
- 稼働率が週の半ばに10名以下(20名定員)になることも多く、新規利用者は月平均で5 名ありましたが、スポット利用が多く稼働率アップにつながっていません。
- ロング利用の方は月平均2名の確保ができていますが、後2名は確保を目指します。
- レクレーションでは毎月の誕生日会や季節の行事は取り組めました。
- 2/16 付で主任が交代し新たに業務の見直し、サービス内容の見直しを展開しています。
- 2月末より新型コロナウィルス感染症対策も、標準予防策の徹底や熱発のある方の利用を控えてもらうなど対策を講じています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数	43	42	42	36	36	34	37	36	42	45	37	38	39
新規	3	3	5	5	8	6	9	3	4	5	4	9	5.33
1日平均	13.6	13.6	12.3	11.7	11	9.7	12.5	14	13.5	12.9	12.3	10.9	12.3
平均介護度	3.6	3.6	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
稼働率	68.2	68.1	61.7	58.5	54.8	48.7	62.6	70	67.7	64.5	61.7	54.5	61.8
収入	5,517	5,829	5,069	4,957	4,525	3,823	5,115	5,515	5,537	5,506	5,008	4,397	5,06

【ケアハウスかわちの里】

ケアハウスは、一年を通して2部屋から4部屋が空室のままの状態でした。老人福祉収入は前年より▲231万円、でした。支出として、人件費は243万円、事業費、事務費で101万円費用が増えています。また、逝去された退所者で未納の利用料を、家族から遺産放棄され徴収不能になった45万円も大きな負担となりました。経常増減差額は470万円と昨年度の1109万円より639万円後退しています。

- 退居者の内、4名が状態悪化で入院や介護施設に入所し退居となりました。また入院も多くあり、1ヶ月を通じて入院者がいる月が数回あり、生活稼働率が上がらず80~88%で推移しました。
- 入居者獲得の為、営業活動を行うようにしていましたが、定期的には行えず不定期な営業活動となってしまいました。
- 上半期は施設長の長期休職や不在の期間が長く、職員や入居者様の不安が大きかったですが、 8月に復帰し定着する事ができ、不安が解消されました。
- 入居者様の高齢化や介護の必要性が高くなってきています。入居者様の中で今年度 100 歳を迎えた方がおられ、お誕生日に入居者様と一緒にお祝いをしました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居室数	27	27	28	28	27	27	28	27	26	26	26	25	322
入居数			1		1	1	1						4
退居数					2	1		1	1			1	6
空室	3	3	2	2	3	3	2	3	4	4	4	5	38
入院者数	1	0	4	3	1	2	3	4	3	2	1	0	24
入院·外泊日数	10	21	51	122	60	39	63	69	41	28	11	0	515
生活稼働率	88.8%	87.4%	87.6%	80.2%	83.5%	84.6%	86.2%	82.3%	82.2%	83.6%	85.4%	83.3%	84.6%
収入(千)	6,261	4,777	4,972	4,844	4,794	4,796	4,963	5,221	4,678	5,700	4,714	5,148	57,762
収入/日/人	5895	5705	5754	5594	5717	5900	5704	6139	5829	5861	6282	5893	5856.1

【ケアプラン】

事業活動収入は568万円と予算に120万円近い遅れとなっていますが、前年より60万円弱の増収になっています。また、支出は人件費等で10万円強が支出が上回っています。事業活動収支差で▲128万円、経常増減差額で▲207万円となりました。

- 下半期にはパートケアマネの採用を見越して予定を立てていましたが、採用には至らず、現 状の常勤換算 1.2 名のままの実績です。
- 下半期にはターミナルの方(ケアハウス、在宅とも)の逝去に伴い終了者が増えました。新 規より終了が先行し、予算から下半期は乖離しています。
- 要支援プランは包括から定期的に委託依頼があります。また、居宅からも委託があり積極的 に受託しています。

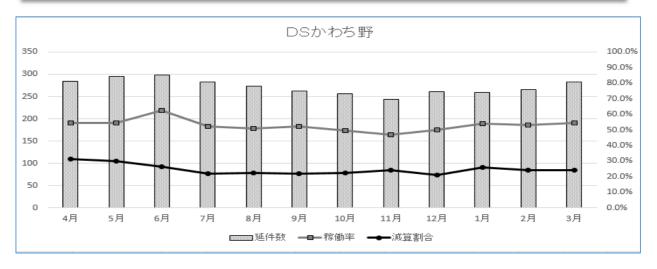
		4	月	5	月	6	月	7	月	8	月	9	月	10	月	11	月	12	月	1	月	2	月	3	月	Ц
		実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	
要支持	爱1• 2	9	10	9	10	9	9	9	9	10	9	10	9	10	9	11	9	12	9	10	9	11	9	12	9	
要介記	獲1・2	23	23	23	24	25	24	24	25	24	25	24	25	23	28	24	29	23	30	24	30	26	30	23	30	
要介護	3•4•5	13	14	12	14	12	14	12	14	12	14	8	14	8	16	8	15	8	15	9	15	8	16	7	16	
プラ	ン計	45	47	44	48	46	47	45	48	46	48	42	48	41	53	43	53	43	54	43	54	45	55	42	55	
認定	調査	5	4	1	3	5	4	4	3	2	2	3	4	5	4	4	4	5	6	4	3	5	3	9	5	
法人内	HP	72	2%	73	.7%	77.	.8%	76	.5%	76	.5%	80	.0%	80	.0%	70.	6%	70	.6%	65	.0%	63	2%	64	.7%	
紹介率	DS	70	.6%	70	.6%	70.	.6%	68	.8%	66	.7%	75	.0%	73	3%	75.	.0%	75	.0%	66	.7%	70	.6%	72	.2%	

【デイサービスセンターかわち野】

稼働率の低迷が加速し、予算を768万円の遅れで3316万円と、支出は人件費で509万円、事業費は294万円、事務費は216万円の計1017万円押えました。そのため、事業活動収支差で840万円、経常増減差額でも昨年度より136万円届きませんでしたが、773万円の剰余を出しています。

- 10月に稼働率が50%を切り、11月には過去最低と思われる46.9%となってしましました。12月からは徐々に回復傾向にあります。
- 職員体制が満足でない中、季節毎のイベントや壁紙製作など停滞する事なく行う事ができ、 利用者様に喜んでいただけたと思います。
- 新規利用者が7件、終了者数が11件で終了者数が上回り、登録者数を増やすことができませんでした。
- 職員体制が不足状況は解消されず他部署からの支援を受け運営をしています。また准正規職員1名が退職となりましたが、期間を開けずに補充する事ができました。
- 営業活動は実績報告時のみとなってしまい、新規開拓は満足に行う事ができませんでした。
- 上半期に送迎車の物損事故が続きました。利用者様のかかわる大きな事故はなく運営する事ができました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規		2	1	1	1				1				6
終了			1	2	2	2		1	1	1			10
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
利用者数	31	30	30	28	28	27	26	26	26	25	25	25	27
延件数	284	295	299	283	274	262	257	244	261	260	265	283	272
一日平均	10.9	10.9	12.0	10.5	10.1	10.5	9.9	9.4	10.0	10.8	10.6	10.9	10.5
稼働率	54.6%	54.6%	62.3%	52.4%	50.7%	52.4%	49.4%	46.9%	50.2%	54.2%	53.0%	54.4%	52.9%
平均利用時間	6:59	6:59	6:59	6:59	6:59	6:58	6:59	6:59	6:58	6:59	6:59	6:59	6:58
滅算割合	31.3%	29.8%	26.4%	21.9%	22.2%	22.1%	22.5%	24.1%	21.0%	26.1%	24.0%	24.0%	24.6%
平均介護度	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.3	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.3	2.4



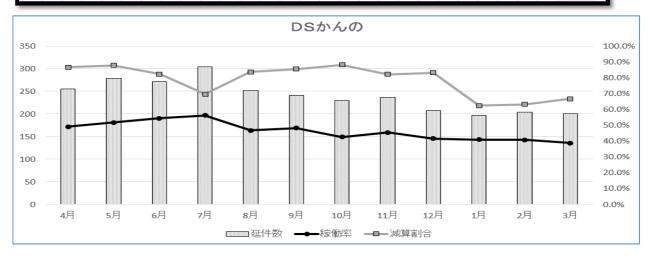
【デイサービスセンターかんの】

事業収益を予算を1200万円下回り、前年度より▲356万円後退。人件費、事務費は予算を大きく下回り、事務費は予算を210万円上回っている!?

事業収益差額は▲207万円に留めた。経常増減差額は▲726万円(昨年度は▲611万円)と厳しい状況が続いています。

- サ高住入居者の利用に頼った運営が続き、利用時間は限度額の調整で伸ばすことができませんでした。
- 毎日利用していた方の利用中止(死亡)や、利用回数を減らした方により、夏以降稼働率が下がってしまい4割を切ってしまった月もありました。
- 何か特色を持った売りのあるデイでないと新規獲得が難しいと意見があり、ダイレクトメールの郵送など継続的にできなかったため、外部利用者の獲得ができませんでした。
- 新規のサ高住入居者は、介護サービスを必要としない方、リハビリ希望の方がほとんどだったため、利用につながりませんでした。
- サ高住入居者との交流を持つことができました。
- 他事業所では困難と言われた方を受け入れ、特に問題なく過ごしていただいたことで、ご家族に喜ばれました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規					1			1					2
終了	1			2		1				1	1		6
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
利用者数	20	21	22	22	23	21	20	20	20	18	18	16	20
延件数	255	279	272	304	252	241	230	236	208	197	204	201	240
一日平均	9.8	10.3	10.9	11.3	9.3	9.6	8.5	9.1	8.3	8.2	8.2	7.7	9.3
稼働率	49.0%	51.7%	54.4%	56.3%	46.7%	48.2%	42.6%	45.4%	41.6%	41.0%	40.8%	38.7%	46.4%
平均利用時間	6:00	5:52	5:55	5:58	6:02	6:05	6:16	6:01	6:05	6:02	6:14	6:25	6:04
減算割合	86.6%	87.8%	82.3%	69.7%	83.7%	85.4%	88.2%	82.2%	83.1%	62.4%	63.2%	66.7%	78.4%
平均介護度	2.7	2.7	2.8	2.8	2.6	2.7	2.6	2.4	2.6	2.4	2.5	2.3	2.6

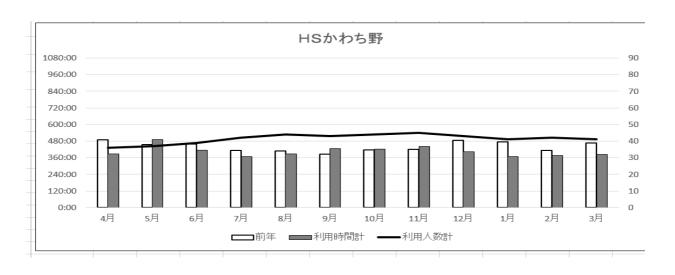


【ヘルパーステーションかわち野】

事業収入1718万円と予算に362万円達成せず、前年よりも120万円後退しています。しかし、費用は予算通りとなり、昨年度より227万円押えることができました。しかし、経常増減差額は \triangle 300万円(前年度 \triangle 370万円)と厳しい状況が続いています。

- 要介護者の利用者確保が困難となっており、要支援者、障害支援を中心に少しでも収益へ結果が出るよう努めました。
- 8月より HS 八尾の利用者様を 9 名移行しましたが、有機職員の協力もあり利用者様にも大きなトラブルなく、現在も援助実施できております。
- 状態変化に対応した援助内容の見直しや、訪問,営業行いましたが予算にも、前年度にも届きませんでした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	21	22	23	27	27	28	29	30	27	26	27	26	313
要支援	12	12	13	12	13	11	11	11	12	11	11	11	140
障がい	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	44
利用人数計	36	37	39	42	44	43	44	45	43	41	42	41	497
要介護利用時間	239:40	334:56	284:00	243:30	238:00	271:31	279:00	275:56	251:30	227:55	232:36	239:40	3118:1
要支援利用時間	60:45	59:00	52:30	65:00	58:15	55:45	59:15	57:15	52:45	44:15	51:15	51:00	667:0
保険外時間	15:30	13:00	14:00	15:30	5:00	8:30	9:00	7:00	8:00	15:00	4:00	4:00	118:3
障がい時間	61:00	73:00	58:00	36:30	76:30	82:00	66:30	92:00	82:30	74:00	82:00	79:00	863:0
移動支援時間	11:00	10:00	8:00	8:00	9:00	8:00	8:00	9:00	9:30	8:00	8:00	9:00	105:3
利用時間計	387:55	489:56	416:30	368:30	386:45	425:46	421:45	441:11	404:15	369:10	377:51	382:40	4872:1

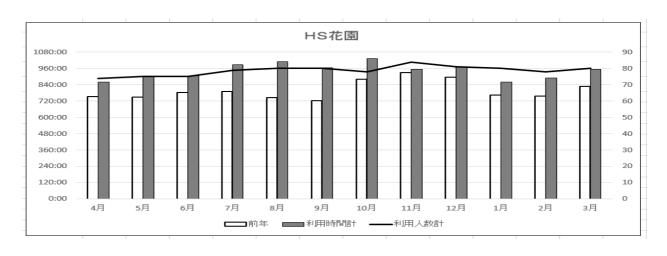


【ヘルパーステーション花園】

事業活動収入が予算を118万円上回り、前年度より591万円増収になりました。支出は 予算、前年度とも大きな差がなく、結果、事業活動収支差は1069万円、経常増減差額は1028万円と剰余を出すことが出来ました。

- 目標にこだわって、毎月近い利用数は確保できました。
- 新規も毎月確保できました。
- 帯の利用者(毎日、同じ時間帯)の終了を想定して、新規獲得を毎月目指しました。
- 困難事例や急な依頼にも極力対応できるよう努めました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	49	50	50	53	55	54	54	60	57	57	54	57	650
要支援	25	25	25	26	25	26	24	24	24	23	24	23	294
利用人数計	74	75	75	79	80	80	78	84	81	80	78	80	944
要介護利用時間	744:25	773:00	792:50	861:15	874:50	828:50	882:15	826:45	860:10	758:10	787:20	841:15	9831:05
要支援利用時間	109:30	127:00	113:45	123:00	125:15	128:00	148:45	118:15	105:45	100:30	101:15	101:15	1402:15
保険外時間	6:40	3:00	0:00	4:50	10:30	6:50	2:30	8:00	6:30	0:00	1:30	9:30	59:50
利用時間計	860:35	903:00	906:35	989:05	1010:35	963:40	1033:30	953:00	972:25	858:40	890:05	952:00	11293:10

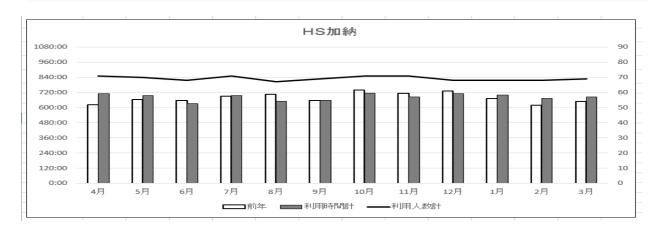


【ヘルパーステーション加納】

HS加納は、事業活動収入が、予算より329万円届きませんでしたが、前年度より130万円伸ばしました。人件費が予算より270万円下回り、事務費を抑えることも要因となりました。事業活動収支差は545万、経常増減差額でも509万円剰余を出すことが出来ました。

- 新規利用者はほぼ毎月 2~3 名はあり、昨年より減った時間数まで戻すことは出来ましたが、 それ以上に伸ばすことが出来ませんでした。
- 職員の補充・増員できず、ヘルパー大東の有期職員がカバーしてくれる案件がありました。
- サービス提供責任者の訪問時間数は変わらず多く、事務所不在が続いています。その為ヘルパーの話をしっかりと聞く事が出来ずヘルパーからの苦情もありました。
- サ青1名が 定年となり、パート職員が常勤(准正規)、サ青になりました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	52	52	51	54	50	51	52	51	50	50	50	50	613
要支援	19	18	17	17	17	18	19	20	18	18	18	19	218
利用人数計	71	70	68	71	67	69	71	71	68	68	68	69	831
要介護利用時間	601:12	603:28	547:43	603:43	563:13	558:07	605:52	563:37	595:22	576:00	562:51	565:07	6946:15
要支援利用時間	109:30	91:30	78:30	88:45	86:30	98:15	101:30	101:50	104:30	110:00	105:20	109:30	1185:40
保険外時間	1:00	2:00	6:00	3:00	3:00	3:30	9:00	19:30	10:00	12:00	6:00	8:30	83:30
利用時間計	711:42	696:58	632:13	695:28	652:43	659:52	716:22	684:57	709:52	698:00	674:11	683:07	8215:25



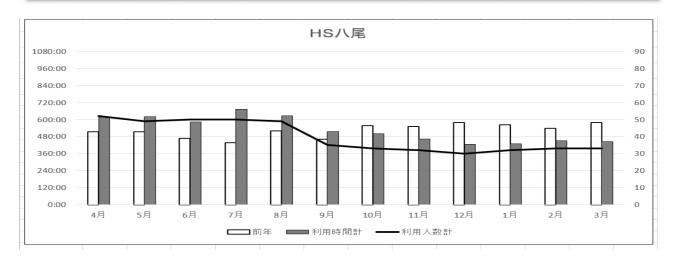
【ヘルパーステーション八尾】

事業活動収入は2551万円で予算を254万円上回りました。また、支出では人件費で280万円と事務費も前年度を下回り、結果504万の事業活動収支差となりました。9月よりサービス提供責任者一人体制に縮小し、18件のプラン移行(同法人内9件、他法人9件)した結果、身体介護の利用者の割合が多く残ったことも要因しています。

● 9月よりサ青1名体制に変わりましたが、多きな赤字を出すことなく営業できていると思います。

- 利用者様は施設入所等で利用終了となっている方もいますが、無理のないように新規利用の 利用者様も増やしています。
- 職員も体調や家庭のことも考えながら全員がオーバーワークしないように全員が協力してできていました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	36	35	36	36	36	23	24	24	23	26	27	27	353
要支援	384:00:00	14	14	14	13	12	9	8	7	6	6	6	125
利用人数計	52	49	50	50	49	35	33	32	30	32	33	33	478
要介護利用時間	491:05	500:00	476:25	554:35	518:11	413:30	432:45	414:55	362:08	366:35	399:10	390:50	5320:09
要支援利用時間	75:50	72:10	60:35	66:55	60:15	53:15	47:30	35:00	33:30	25:00	21:45	25:15	577:00
保険外時間	49:40	48:30	46:00	51:00	47:40	48:25	18:20	12:10	31:30	37:30	30:00	30:00	450:45
利用時間計	616:35	620:40	583:00	672:30	626:06	515:10	498:35	462:05	427:08	429:05	450:55	446:05	6347:54

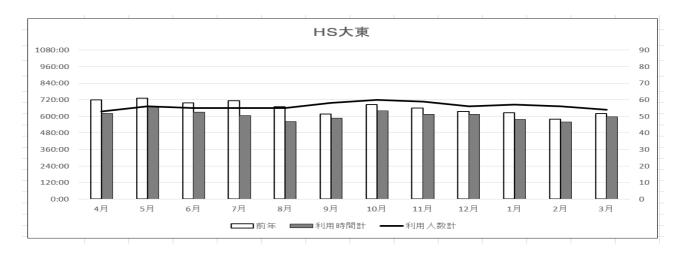


【ヘルパーステーション大東】

事業活動収入は2508万円と予算を347万円、前年度を161万円下回っています。3年前に2事業所を統合しているため、営業範囲が広範囲で職員体制も充実していることから拡大できる可能性は高く持っています。費用は人件費、事務費とも前年度を抑えましたが、2675万円となり結果、事業活動収支差は、▲136万円、経常増減差額は▲167万円でした。

- 居宅への営業活動は適宜行っています。新規利用者、平均で毎月 1~2 名ありありましたが、 中止もあり伸び悩んでいました。
- 帯の身体介助の新規利用者が確保できたので、身体の時間数を増やすことが出来ている。
- 新規利用者の身体介助を常勤職員で訪問することにより、人件費の調整が後半に少しづつ成果が表れました。
- 利用者様の状況把握や職員からの聞き取り等で援助内容を見直しは続けています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	36	39	38	37	38	40	42	41	39	40	40	40	470
要支援	17	17	17	18	17	18	18	18	17	17	16	14	204
利用人数計	53	56	55	55	55	58	60	59	56	57	56	54	674
要介護利用時間	456:45	491:45	469:15	465:15	452:15	470:15	523:45	491:00	494:15	478:30	451:30	499:00	5743:30
要支援利用時間	98:30	101:00	94:40	100:40	87:15	93:20	99:50	98:45	99:30	81:30	85:50	78:00	1118:50
保険外時間	64:50	77:04	65:50	38:50	21:30	21:50	15:50	25:30	22:00	18:50	20:00	18:00	410:04
利用時間計	620:05	669:49	629:45	604:45	561:00	585:25	639:25	615:15	615:45	578:50	557:20	595:00	7272:24



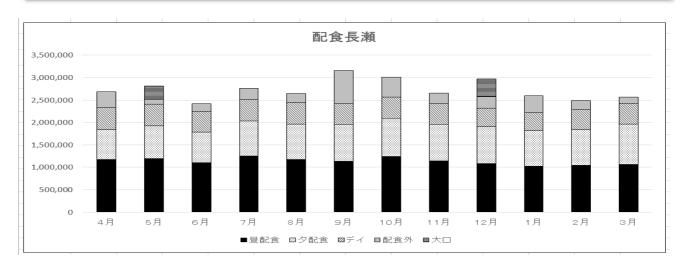
【配食長瀬センター】

事業活動収入が3487万円、わずかに前年度を下回りました。しかし、支出では人件費、事務費で前年度を大きく下回り、事業活動収支差は35万円、経常増減差額でも26万円と剰余を出すことが出来ました(経差前年度▲443万円)。委託事業を外れ収入源を余儀なくされた中での初めて剰余が出ました。プロジェクト会議を通じて、アンケートなど利用者の声に耳を傾け、業務改善を繰り返し見直し、原価比率等管理を進めた成果が出ました。

- 効率を図り数字をあげてきましたが、調理師が突然の退職や新しい調理師の仕入れ方法やシフト変更など混乱し、利用者も調理方法や味で離れてしまいました。加えて年明けからの入院・中止が相次ぎ利用者減となり収入にも大きく反映しております。傾向として昼食が減り、夕食が増加しています。
- 1月から調理師が1人体制となっており横小路の調理師が応援に来ていただいて公休を確保している現状で、計画している生協職員弁当の営業が先延ばしとなっています。
- 夕配達員が退職し、営業時間の減少にも繋がり全体の負担も増え、大変苦しい状況となっています。
- 9月・10月には調理師2名で厨房業務も理想的なシフトも組め、食数もイベント弁当で10食を毎日増やすことでわずかですがプラスを出すことが出来、1食・1円を無駄にしないよう取り組みました。
- 原価計算表を作成し、仕入れ先の見直しも出来、一日単位での献立の原価率も細かくチェックできるようになりました。

● 次年度からの厨房作業マニュアル・配達マニュアルを再作成しました。

タ件数ディ	74 476500	70 491500	69 463500	75 475500	78 482000	83 461000	80 477500	83 459500	88 413500	84 395000	87 449500	92 466500	963 5,511,500
夕食数	1111	1199	1109	1273	1302	1356	1 405	1336	1367	1320	1326	1 488	15592
昼件数	129	121	127	131	132	131	128	119	135	117	115	117	1502
昼食数	1877	1912	1776	2018	1884	1822	1993	1844	1742	1650	1679	1718	21915
日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	25	26	310
収益	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計

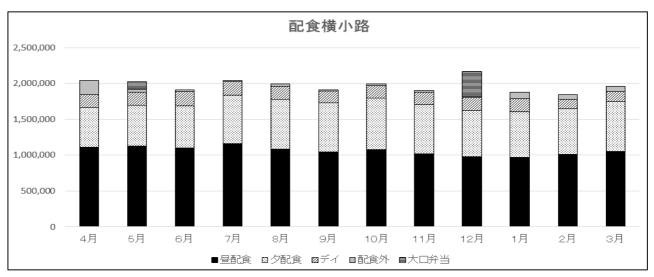


【配食横小路センター】

事業活動収入が2570万円と予算、前年度実績ともに到達することが出来ませんでした。 人員不足からトラブルや、新規開拓できず食数の自然減などがありました。支出面は人件費、 事務費、事業費とも昨年度を大きく下回り、結果として事業活動収支差額で31万、経常増減 差額で▲90万円(前年▲451万円)に抑えることが出来ました。

- 収入は190万円まで下げてしまい、厳しい経営状況となっています。それ以上下がらないよう維持している現状です。職員給食費も収入に入れてのことです。
- 職員の体制は調理師不足のままです。細かな気づきができておらず日々の業務だけになって しまっています。配達は4コースから3コースに変更、厨房は3人体制から2人体制に変 更してぎりぎりで業務してもらっています。
- 損益分岐点を見極めてですが食数、業務の複雑化があれば職員を増やす必要が出てくるかと 思います。平均食数は昼食65食、夕食45ほどです。目標としまして昼100食、夕食は60 食を目指していきます。

営業日数	26	27	25	27	26	25	27	26	25	24	25	26	309
昼食数	1745	1817	1773	1866	1746	1673	1728	1642	1565	1555	1623	1672	20405
昼件数	114	111	113	113	110	109	107	103	106	105	107	104	1302
夕食数	885	906	936	1075	1105	1097	1150	1093	1030	1019	1024	1109	12429
夕件数	50	47	50	54	55	58	54	53	53	57	58	56	645
デイ	182500	185000	198500	192500	180500	169000	170000	170500	181000	177000	132500	139000	2,078,00
配食外	196550	40000	26000	15200	31600	16400	22400	22400	15600	90448	63200	76885	616,683
大口弁当	0	108000	0	0	0	0	0	0	351540	0	0	0	459,540
計	2042891	2027260	1911179	2043474	1991206	1911489	1988861	1900121	2168324	1873116	1842938	1958357	23,659,21

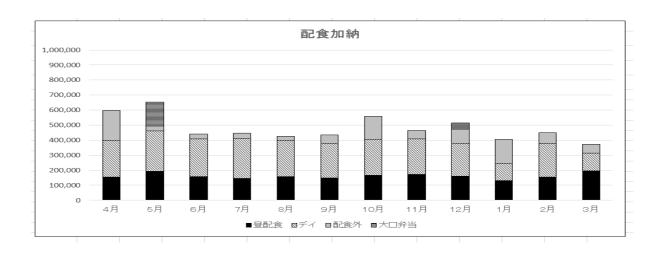


【配食加納センター】

事業活動収入が636万円と昨年度の290万円より大きく伸ばしました。食数に応じて費用も増えていることから890万円と費用増大し、結果事業活動収支差は▲180万円、経常増減差額は▲254万円(経差前年度▲151万円)となりました。

- 昨年度よりは少しではあるが食数が上がりイベント弁当の注文も多くはなってきていますが目標の数字には届いていません。
- 調理師1名の就労時間が短くなり、調理師不足が続いています。
- 配食加納の知名度を上げるためにポスティングを中心に営業活動を続けていますが、夕食や 治療食など対応できない要望が多く中々成果には結びついていません。

収益	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
営業日数	26	27	25	27	26	25	27	26	25	24	25	26	309
昼配食	156,016	192,477	156,475	146,826	156,211	150,008	165,535	171,628	161,629	131,369	153,915	196,895	1,938,984
昼食数	254	313	257	241	257	244	269	279	263	212	245	318	3,152
昼件数	25	27	27	21	27	26	26	25	27	27	27	29	314
デイ	243,780	268,478	251,710	263,656	243,652	227,920	240,876	236,488	217,700	115,182	225,450	116,154	2,651,046
配食外	196,693	33,400	31,200	35,150	26,800	56,902	152,350	56,650	93,400	159,050	68,900	58,500	968,995
大口弁当	0	158,400	0	0	0	0	0	0	42,120	0	0	0	200,520
計	596,489	652,755	439,385	445,632	426,663	434,830	558,761	464,766	514,849	405,601	448,265	371,549	5,759,545



【サ高住加納】

高齢福祉収益(サ高住分のみ)が9900万円と昨年を100万円増収になっています。また、今年度は(一社)ファイン様からの200万円を超える寄付をいただいたことで、事業活動収入が11940万円となりました。9月には建物取得購入し(土地は賃貸のまま)し、今後借入の返済となりますが、月々の支払いとしては少し減りました。経常増減差額は寄付のおかげで \blacktriangle 32万円にとどまりました。

- ご家族の状況などにより、急に退居するケースが多くみられました。
- 見学後や、退居予定がわかってからの対応が不十分だったために、空室を埋めることができませんでした。
- 成功報酬型のWEBサイトからの紹介や、医療生協組合員さんからの紹介の他に、ご家族がネットで検索して訪ねてくることも増えています。
- 准正規職員が2名退職した後、スタッフが勤務時間や日数を増やしてくれたこともあり、シフトを作成することができました。
- 入居者が快適に過ごせるよう、環境を整える業務の見直しや追加を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居室数	66	67	68	69	66	67	67	66	67	66	65	64
入居者数	67	69	69	71	69	70	70	69	70	70	68	66
入居数		1	3	2	1	1	1		2	1	1	
退居数			1	2	3	1		1	1	2	3	
空室	9	8	7	6	9	8	8	9	8	9	10	11
稼働率	88.0	89.3	90.6	89.3	89.3	92.0	89.3	88.0	89.3	89.3	86.6	85.3
収入	8,122	8,225	8,141	8,115	8,050	8,192	8,435	8,196	8,114	8,145	7,845	9,584
収入/日/人	4063	4062	4168	3952	4070	4075	4189	4225	4042	4181	4339	4153

【介護員養成研修事業】

初任者研修は、年2回の開催を予定していましたが人材確保できず、秋に1回開催を準備しました。しかし、申込み数が最低人員に満たずやむを得ず中止となりました。宣伝広告費など12万円が欠損になりました。

【保育室】

キッズルームは、昨年度より利用者数は増え1日平均2.6人と前年度の2.2人より0.4人増となりました。児童育成協会からの補助金前年度の7,268,880円(概算時、確定額は6,853,760円)から7,908,210円(概算)と増額(前年度分の差引額 \blacktriangle 415,120返納)しています。費用も増え結果経常増減差額は \hbar 217万(経差前年度 \hbar 285万)となりました。関係グループ法人からの預託金は、増額してもらっていますが、さらなる利用者確保が求められています。

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
開所日数	19	24	25	25	25	24	26	24	24	23	22	25	286
乳幼児計	57	49	38	34	57	61	74	66	85	67	76	72	736
乳幼児1日平均	3.0	2.0	1.5	1.4	2.3	2.5	2.8	2.8	3.5	2.9	3.5	2.9	2.6
利用料収入	67,000	61,100	50,200	39,800	64,600	78,400	97,300	93,900	109,000	88,900	104,100	93,200	947,50
預託金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	2,400,00
業務委託料	945,972	1,090,973	955,066	961,891	954,720	1,014,336	1,056,726	991,672	1,015,520	1,020,272	996,688	1,029,776	12,033,61
補助金収入	461,750	332,470	342,540	297,470	489,250	673,940	904,480	904,390	873,540	867,450	942,200	818,730	7,908,21

